



<支部アンサンブルコンテストで熱演>

12月7日(土)に、県吹奏楽連盟いわき支部主催のアンサンブルコンテストいわき支部大会がアリオスで開催され、吹奏楽部から管打5重奏、金管6重奏、木管4重奏の3組が出場しました。補助役員の活動も含めて1日がかりの活動になりましたが、演奏の他、係活動にも一生懸命に取り組みました。

結果は、それぞれ金賞には届きませんでしたが、今回のコンテストを通して感じたことや気がついたことをもとに、来年の支部コンクールに向けて、より一層練習に励んでほしいと思います。

<市ジュニアバドミントン大会で健闘>

12月8日(日)に、いわきバドミントン協会主催のジュニアバドミントン大会が市総合体育館で開催され、バドミントン部がシングルス、ダブルスの個人戦に参加しました。まず、予選ブロックでの試合が行われ、その後、ブロック1位通過者による決勝トーナメントが行われました。

シングルスでは2年生の白井龍兎君が、ダブルスでは1年生の猪狩勇翔君・古市空君ペアが、それぞれ全勝で予選ブロックを通過し、決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントでは、どちらも1・2回戦で惜敗しましたが、猪狩・古市君ペアは3位入賞となりました。バドミントンは三和中や上遠野中など強敵が多いですが、それらの学校に追いつき、追い越せるように、これからの練習に励んでほしいと思います。

<RSTを実施>

12月7日(土)、1年2組を対象にRST(リーディングスキル・テスト)の無償版を実施しました。昨年度は1・2年生で無償版を、今年度は2年生が有償版で実施しています。

このテストは教育のための科学研究所が開発したもので、「基礎的・汎用的読解力」がどれだけ身についているかを診断するためのテストです。無償版・有償版とも県内の小中学校から選定された学校で実施されています。小川中は2年間実施となり、とても恵まれています。テストでは学習の基本となる読み(読解力)について、6項目7領域に分けて客観的に診断します。その診断をもとに、読解力を向上させるための授業での手立てを考えていきます。読解力が向上すれば教科書や問題文などを正しく読むことができるようになり、学習の効果が上がります。最終的には学力の向上につながると考えています。今回の無償版テストから、1年生では次のような傾向が見られました。

<他の学校等の検査結果と比較した、1年生の傾向>

- 1 解答数(解いた問題の数)が少ない
→問題を解く(問題を読み、その意図をつかみ、答えを導き出す)のに時間がかかる。
- 2 正答率(正しく答えた数)が少ない
→解答数も少ない上、正しい答えも少ない。特に、3つの領域では、他よりも13~16ポイントも低い。(正しく読んで、正しく答えられていない)

先日のニュースでも話題になりましたが、国際学習到達度調査(OECD=経済協力開発機構が実施した国際的な調査で、3年に1度、義務教育で得た知識を実生活に生かす力を問う調査)で、「読解力」が過去最低と同じ15位に順位を下げました。この調査とRSTを単純に比較はできませんが、日本の小中学生の読解力が低下していることには変わりがないようです。

読解力は学習する際の基本的な能力になります。「教科書を読んでまとめる」にも「模範解答を見て自己採点する」にも文章を正しく読んで理解することが前提となります。また、将来の社会生活の上でも読解力は必要不可欠です。「取扱説明書を読む」「契約書を読む」「役所からくる文書を読む」(紙だけでなく、スマホ等の画面で読む場合も含めて)など、必要に応じて文書を読み、それを正しく理解して行動する場面がいくつも出てきます。小中学生のうちに読む力をしっかり身に付けることが重要となります。

<昼休み、体育館を開放>

台風19号の被害から、ちょうど2ヶ月が経ちました。校庭が自由に使えていた時には、昼休みにサッカーを行うなど、元気よく活動する生徒の姿がありました。しかし、2ヶ月も使えない状態が続いているので、今週の月曜から、昼休みに体育館を開放することにしました。開放するに当たって、使用日や時間、約束などを確認しました。その内容は次のとおりです。

- | | | | |
|-------|-----------------------------|-------------------------------------|--|
| ○開放時間 | 13:00~13:20 | ○使用上の約束 | |
| ○開放日 | 月・木 2年生
火・金 1年生
水 3年生 | ①委員会や係活動を優先する。 | |
| ○活動内容 | バスケット、バレー、バドミントン | ②後片付けや使用の仕方が悪いときには、次回からの使用を禁止する。 | |
| | | ③ケガのないよう活動する。何かあったときには、すぐに先生方に知らせる。 | |

校庭が復旧するまでは開放を続けていく予定です。ケガ等に十分注意させながら、使用させたいと思います。なお、校庭等の復旧については、現在、市教育委員会では対応中です。1月から工事を始め、年度内に使える状態に戻す予定となっています。

<困りごとと調査を実施>

12月9日(月)に、今年度3回目の困りごと調査を実施しました。1、2回は学校で記入しましたが、今回は家庭で記入するようにしました。調査の対象期間は、2学期から調査実施日までの期間になります。質問内容は次のとおりです。

- 1 自分も含め、学校でよい行いをしていた人を見ましたか。
- 2 あなたは、お金や物品の貸し借りをしたことがありますか。また、見たり聞いたりしたことはありますか。
- 3 あなたの周りに弱いものいじめをしている人はいますか。
- 4 あなたのクラスで元気がなく、心配だなどと思う人はいますか。
- 5 悩みごとや困っていることがあれば書いてください。
- 6 情報端末(スマートフォン・パソコン・タブレット・ゲーム機等)を使い、SNSや通信型ゲーム(オンライン上で行うゲーム)等のアプリを利用していますか。使用している場合、「1日どれくらい」「どのような内容のもの」「誰と」など、その利用状況をできるだけ詳しく書いてください。
- 7 あなたや周囲の人で、SNSやインターネット、ゲーム等をきっかけにして、トラブルを起こしたり、巻き込まれたりしたことはありますか。

今回の調査から、質問6の内容を変更しました。ニュースでも取り上げられていますが、情報端末の使用による未成年者の事件・事故や問題が多く発生しています。そのため、事故の未然防止の意義を込めて変更しました。誰にも安心して、楽しく学校生活を送る権利があります。それを達成するための手立ての1つが困りごと調査です。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<消費者教育に関する授業を実施>

12月11(水)の3・4校時に、市の消費生活コーディネーターの方を講師に迎え、2年生を対象に消費者教育に関する授業を行いました。

この事業は市と市消費生活センターが進めているもので、生徒たちが将来にわたって賢い消費者となるために、消費生活に関する問題やそれらへの対応について、早い段階から学ぶことを目的に行っています。

中学校では、社会科の公民分野や家庭科でも学習しますが、今回は具体例をとおしながら分かりやすくお話していただきました。今回の話を参考にして、悪質な消費者トラブルから身を守れるようにしてほしいと思います。



<「自分手帳」を配付>

昨日、生徒たちは「自分手帳」に必要事項を記入し、家庭へ持ち帰りました。「自分手帳」は「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト」の一環で行われているもので、健康診断等の結果や体力・運動能力調査の結果、食習慣調査の結果などを一元管理できる手帳です。家庭でも、この手帳をとおして生徒の健康や体力の状況を確認され、健康管理・体力向上にお役立てください。なお、保護者の皆様にもご記入いただくか所がありますので、それらをご記入の上、12月20日(金)までに、学級担任へご返却ください。



<学校評価アンケートを実施>

先日配付しました今年度の本校教育活動に対する保護者アンケートですが、本日が提出最終日でした。お忙しい中、多くの皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。併せて生徒にもアンケートをとりました。また、教職員については自己評価を行い、今年度の教育活動を振り返りました。

これらの結果等については、後日、お知らせします。また、検討委員会を開催して、次年度の教育活動の計画を立てて参ります。魅力ある教育活動となるように検討して参ります。

【来週の予定】

月 日	曜日	給食	お も な 行 事
12月16日	月	○	放送朝会
12月17日	火	○	SC・司書来校
12月18日	水	○	ノー部活デー 職員会議
12月19日	木	○	修学旅行費集金(2学年室、7:30~)
12月20日	金	○	6校時水の2
12月21日	土	△	生徒会長サミット実践報告会(市文化センター、8:30~)